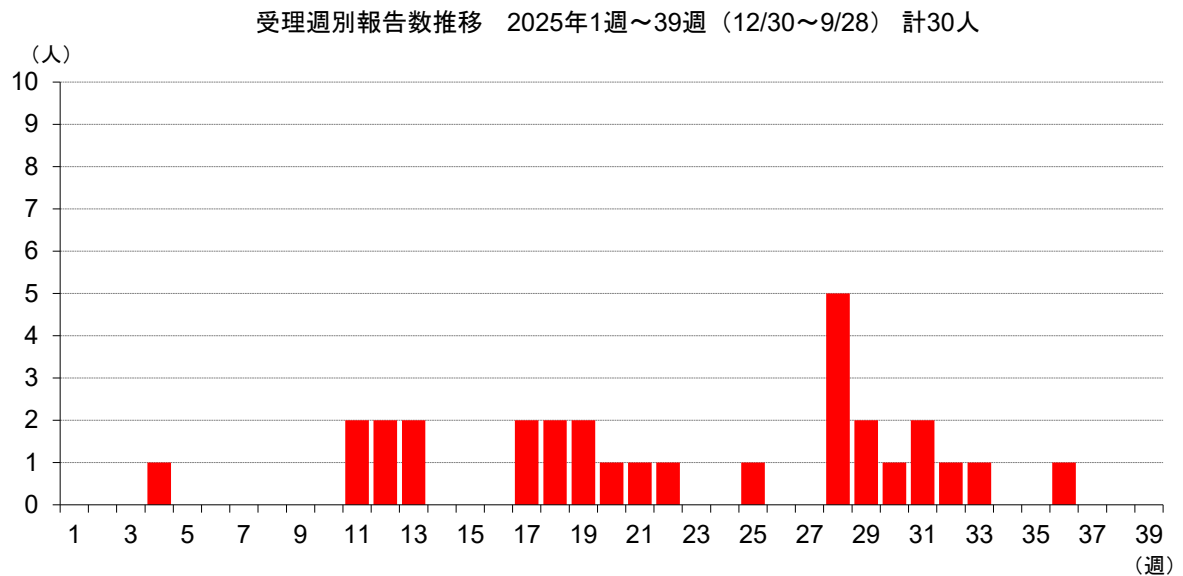


都内における麻しんの発生状況（2025 年第 1 週から 39 週）

東京都健康安全研究センター

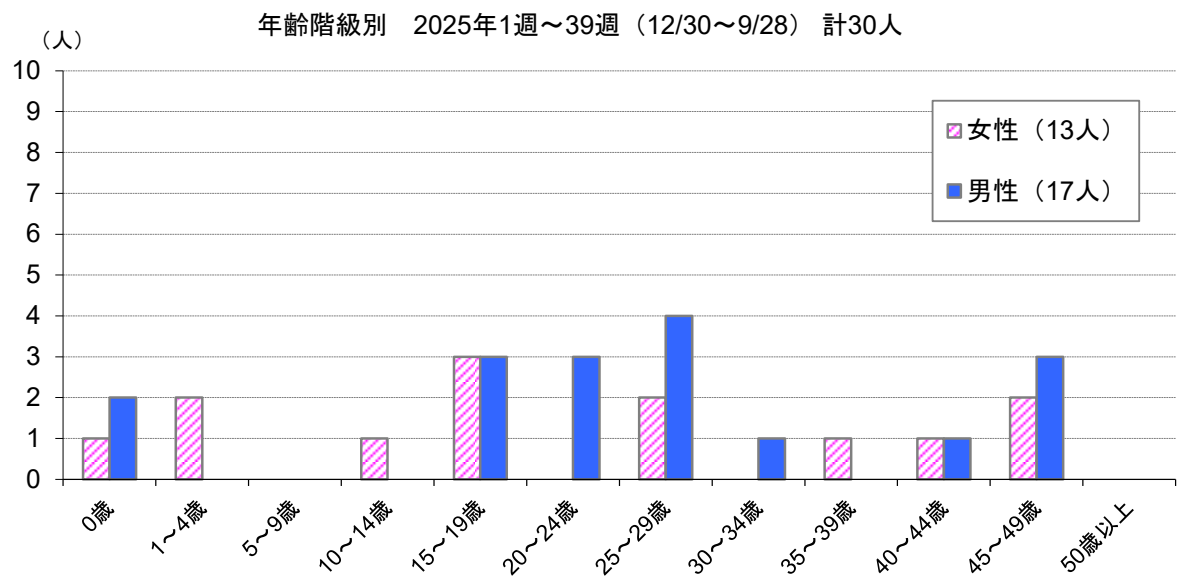
1. 患者報告数の推移

2025 年 39 週（9/28）までの累計報告数は 30 人であった。



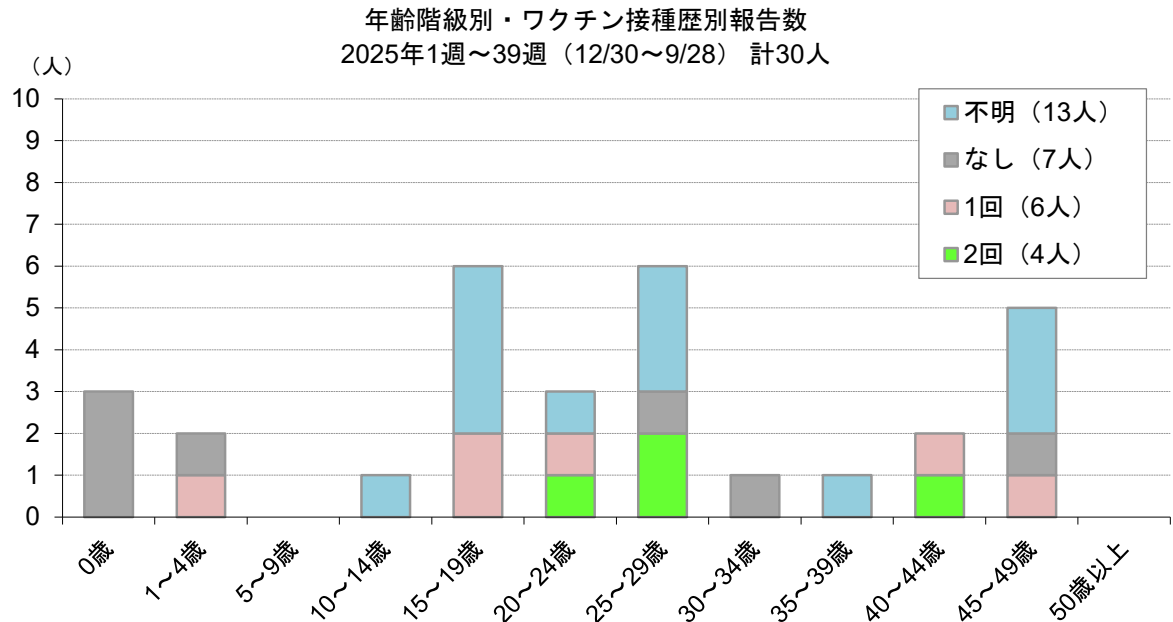
2. 年齢階級別・性別報告数

年齢階級別では 0 歳が 3 人、1～4 歳が 2 人、10～14 歳が 1 人、15～19 歳が 6 人、20～24 歳が 3 人、25～29 歳が 6 人、30～34 歳が 1 人、35～39 歳が 1 人、40～44 歳が 2 人、45～49 歳が 5 人であった。性別では男性 17 人、女性 13 人であった。



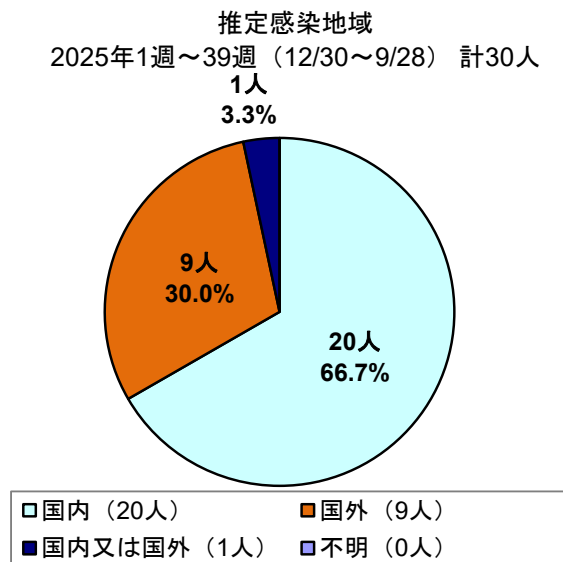
3. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別でみると、1回接種が6人、2回接種が4人、接種なしが7人、不明が13人であり、接種なしと不明を合わせた割合は約67%であった。



4. 推定感染地域

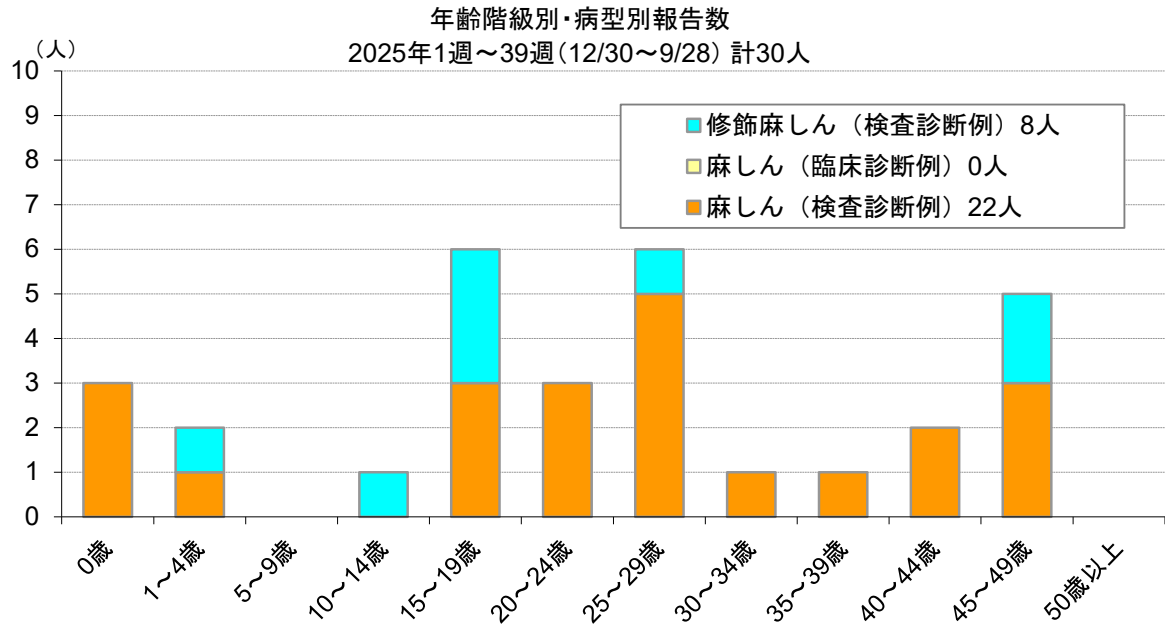
推定感染地域は「国内」が20人、「国外」が9人、「国内又は国外」が1人であった。



国外の内訳：ベトナム 7 件、インドネシア 1 件、ベトナム又はタイ 1 件、マレーシア又はタイ 1 件

5. 年齢階級別・病型別報告数

病型別でみると、麻しん（検査診断例）が22人、修飾麻しん（検査診断例）が8人であった。麻しん（臨床診断例）の報告はなかった。



6. 事例一覧

No	診断週	性別	年齢群	遺伝子型	推定感染地域	予防接種歴
1	4 週	男	30～34 歳	D8	国内	なし
2	11 週	男	25～29 歳	B3	国内	2 回
3	11 週	女	25～29 歳	B3	国外（ベトナム）	不明
4	11 週	女	45～49 歳	D8	国内	1 回
5	12 週	男	40～44 歳	B3	国内	1 回
6	13 週	男	20～24 歳	B3	国外（ベトナム）	2 回
7	13 週	女	25～29 歳	B3	国内	2 回
8	16 週	男	15～19 歳	B3	国外（ベトナム）	不明
9	17 週	男	0 歳	B3	国外（ベトナム）	なし
10	18 週	男	0 歳	B3	国内	なし
11	18 週	女	35～39 歳	B3	国外（ベトナム）	不明
12	19 週	女	1～4 歳	B3	国内又は国外（ベトナム）	1 回
13	19 週	女	15～19 歳	B3	国内	1 回
14	20 週	女	45～49 歳	B3	国内	不明
15	21 週	男	25～29 歳	B3	国外（ベトナム又はタイ）	不明
16	22 週	男	20～24 歳	B3	国外（ベトナム）	1 回
17	25 週	男	25～29 歳	B3	国内	不明

No	診断週	性別	年齢群	遺伝子型	推定感染地域	予防接種歴
18	28 週	男	15～19 歳	B3	国内	不明
19	28 週	男	15～19 歳	B3	国内	不明
20	28 週	女	15～19 歳	B3	国内	1 回
21	28 週	女	40～44 歳	B3	国内	2 回
22	28 週	男	25～29 歳	不明	国内	なし
23	29 週	女	10～14 歳	B3	国内	不明
24	29 週	男	45～49 歳	B3	国内	不明
25	30 週	女	1～4 歳	B3	国内	なし
26	31 週	女	0 歳	B3	国内	なし
27	31 週	男	45～49 歳	B3	国内	不明
28	32 週	女	15～19 歳	B3	国内	不明
29	33 週	男	20～24 歳	D8	国外（マレーシア又はタイ）	不明
30	36 週	男	45～49 歳	D8	国外（インドネシア）	なし

7. 集団発生報告数

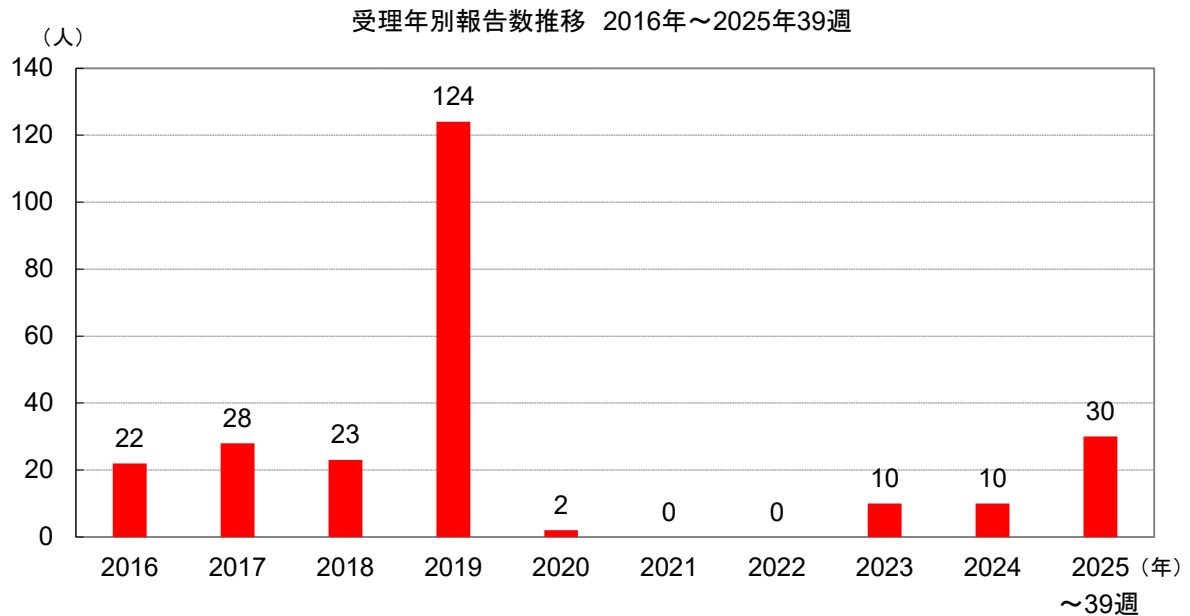
集団発生（都内同一施設で2人以上発症があった者）は企業1件、交通機関1件、医療機関1件の報告であった。

No	受理週	場所	管轄保健所	初発発症日	患者報告数
①	11 週	企業（商社）	千代田	2 月 26 日	3 人（1 人は他県）
②	28 週	交通機関	渋谷区	不明	3 人（1 人は他県）
③	28 週	医療機関	葛飾区	7 月 2 日	3 人

<参考>

1. 麻しん患者報告数の年別推移（2016 年～2025 年 39 週）

新型コロナの流行が始まった 2020 年以降は少ないものの、2019 年は医療機関を含め集団発生も多く、都内だけで年間 120 人以上の報告があった。



2. 麻しん患者報告数の推移（2021 年～2025 年 39 週）

2021 年、2022 年の報告はなかった。過去 5 年間でみると、2025 年は最も多い報告数となった。

